

My Town  
わが街

My FRIEND  
わが友

MARI  
マリ  
CHRISTINE  
クリスティーン



3

## 六本木①

な場所になったといえます。みんな同じような顔をしてい  
今につながるちよっとおしゃ  
れなこの街の雰囲気は、父を  
含めた若い米兵たちが原型を  
つくったとも言えそうです。  
建物の門を出る時、ちよっ  
と立ち止まった父は「昔は  
ね、米軍の給料日になると、  
近くの小さな飲み屋のママさ  
んたちが行列をつくったもの  
だった。兵隊からツケを支払  
ってもらったためにね。大勢集  
まって待っていたと、懐か  
しそうに話してくれました。  
（異文化コミュニケーションター  
題字も）

は、まるで昔の合宿所を探し  
当てる大学生のようでした。

六本木の地名の由来は「六  
本の木があったから」大名家  
が六軒あった」などの説があ  
るそうですが、ハーディー・  
バラックスができてからは、  
米兵相手のバーやクラブなど  
が次々に店開きしてにぎやか

らったばかりの給料袋から渋  
々飲み代を支払う若き日の父  
のことを想像して、私も笑っ  
てしまいました。

今は六本木ヒルズに続き東  
京ミッドタウンも建設され、  
昔の面影はまったくなくなっ  
てしまいました。

先日オープンした六本木の  
国立新美術館の正面を入った  
ところに以前、東京大学の生  
産技術研究所がありました。  
そこは戦後すぐのころ、連合  
国軍総司令部(GHQ)の独身  
寮があり「ハーディー・バラッ  
クス」と呼ばれていました。硬  
い言葉で言えば、マッカーサ  
ー直轄の第一騎兵師団の兵舎  
ということになります。

の右側に「スターズ&ストラ  
イプス(星条旗)新聞社」が  
あります。在日米軍の軍人や  
関係者が読む新聞です。  
父は独身時代、そのハーデ  
イー・バラックスに住んでい  
ました。何年前か前、日本に来た  
父が「独身寮に行ってみた  
い」と言い出し、私も一緒に  
行きました。建物はそのまま  
でしたが、父の生活していた部  
屋も含めて東大の研究所に変  
わっていました。その時の父

今は「星条旗通り」ともい  
われる青山墓地を上がる手前



今は新名所が次々と  
港区の国立新美術館で

# 父の思い出の独身寮

全10話